

柳瀬川回廊

3月29日（火） くもり

- ★ 今年の桜は3月20日に開花宣言、27日に満開宣言が出たので、お花見には絶好のタイミングとなった。残念ながら曇りで、やや寒い日であったが、散策には特に支障はなく、咲き始めた花々を愛でながらの楽しい散策となった。
- ★ ひばりが丘駅に集合、清瀬駅からバスに乗り20分ほどで台田団地に到着した。バス通りに沿って柳瀬川が流れており、河川敷全体が公園になっていて、約1kmに渡って約170本の桜並木が続いている。桜のトンネルをくぐったり、土手に上がって上から桜並木を眺めたりしながら、ゆっくりと満開の桜を楽しんだ。



台田運動広場の桜並木



柳瀬川の土手に咲く桜



金山橋からの景色



- ★ 平日なので人出はそれほど多くはないが、ぶらぶらと歩きながら花見を楽しむ人、川原でバーベキューをする人などが多く見られた。異色だったのは、かなり年配の男女二人が土手に座ってお酒を飲み、手を叩きながら大きな声で歌っている光景であった。川の向こう岸で歌っていたので、何を歌っているのか分からなかったが、時折聞こえてくる声からすると民謡のようであった。またベトナム人の女性が赤いアオザイを着て、桜をバックに自撮りしている姿も見かけた。川面を掠めるように燕が飛び交っていた。



アオザイを着た女性



花見でご機嫌な二人

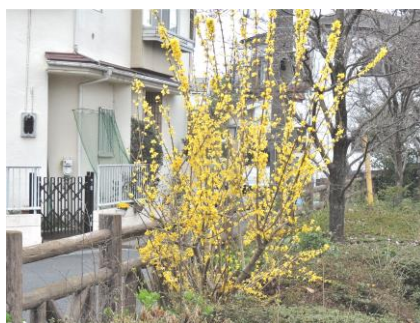


金山緑地公園

- ★ 金山橋を渡ってすぐ左手が金山緑地公園である。池を中心に石段でできた広場があり、その周囲にはケヤキ、クスノキ、コナラなどの雑木林がある。ここにもソメイヨシノや枝垂れ桜が咲いていた。公園を抜けて柳瀬川の左岸を上流へ遡り、松柳橋を渡って右岸へ渡る。この辺に来ると高い建築物や樹木がないので視界が開け、空が広く見える。ここの桜は、街道沿いに植えられた桜のように枝を切られることもなく、思う存分枝を伸ばしているの、1本々々の木が雄大である。また回廊の周りでは、ユキヤナギ、レンギョウ、サンシュユ、トサミズキ、木瓜、桃、ハナズオウなどが一斉に花を咲かせている。



源平咲きのハナモモ



レンギョウ



ヤマザクラ

- ★ 清瀬橋付近で小金井街道を横断するとせせらぎ公園である。東京都が進めている柳瀬川と空堀川の改修で川の流れを変えることで出来た小川と周囲の雑木林からなる「親水散策コース」である。道の両側にはオドリコソウ、ホトケノザ、シャガ、スミレなどが咲いていた。夏にはホタルが飛び交うという。

- ★ 石田橋からは、回廊は空堀川の右岸に付けられている。左の河岸段丘は中里緑地保全地区で、コナラやクスノギの雑木林や竹林である。ここはまた都内有数のカタクリの名所で、例年3月末に「カタクリ祭り」が行われる。ちょうどカタクリの花の見頃であったが、この日は気温が低いために花が閉じていて残念であった。



- ★ 梅坂橋が柳瀬川回廊の終点である。この橋の近くに明治薬科大学がある。かつては田無に校舎があったが、1998年のここへ移転してきた。ここから15分ほど歩いて秋津駅に4時前に着いた。



俳句を頂きました。

曇天の 川面かすめて 燕来る
花すみれ 護岸工事の 土手に咲き
花冷や テント幾張り 河川敷
清冽な せせらぎ音や 春の川
アオザイの 赤き乙女ご 花見かな
初燕 見下ろす川面 飛翔せり
桜へと しょうりゅうばし 松柳橋を 渡りたり

志賀 勉

桑田青三

写真と文 小島恕雄

参加者 桑田制三、小島恕雄夫妻、志賀 勉、牧野昭夫、水野 聰夫妻 以上7名